



鹿 鈴 山

題字 元文部大臣 瀬戸山三男氏

発行／南九州大学同窓会 編集／同窓会企画広報部 印刷／株式会社 文昌堂

〒885-0035 宮崎県都城市立野町376 4-1 南九州大学同窓会本部事務局

URL／http://hibari.nankyudai.ac.jp/dosokai/ e-mail／dosokai@nankyudai.ac.jp TEL・FAX／0986-46-1087

日増しに秋も深まる季節となりましたが、同窓生の皆様におかれましては益々ご健勝のことと思います。また、保護者様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げますとともに、日頃より同窓会活動にご協力をいただき感謝申し上げます。

まず、三月十一日に三陸沖を震源とする国内観測史上最大の巨大地震と大津波により被災された皆様、心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復旧・復興と皆様方のご健康を心よりお祈り申し上げます。同窓会としての東北大地震への対応につきましては、当通信の別紙記載内容をご覧くださいいただければと思います。

さて、南九州大学におきましては、昭和42年に高鍋町において開学し、今年度で44周年を迎えました。同窓生の会員と在校生の準会員を合わせると一万三百人を超えた大学となっています。この間、平成15年4月には宮崎キャンパスが新設され、健康栄養学部が新設されました。平成21年4月には都城キャンパスに環境園芸学部が改組新設され、さらに平成22年4月には人間発達学部子ども教育学科が開設されました。現在の同窓会は園芸学科・造園学科の卒業生を中心として運営がなされていますが、新しい学部が二つも新設されたことを考えますと、新学部からも若い役員・代議員を数多く入れ、活性化した活力ある同窓会を構築する必要性に迫られているのではないかと考えています。

大学では時代の変化とともに、将来を見据えた改組が着々と実行されてきましたが、なお一層社会的使命を果たすことのできる大学へ飛躍できるかどうかは、大学当局と同窓会（同窓生）さらに地域との連携の如何にかかっているのではないかと考えています。少子高齢化の日本において、社会の変化や時代の要請に対応できない大学は存続していきことは難しい状況になっています。今、地域が最も求めていることは人口の減少を食い止め、若者を増やすことであると思います。地元からの入学生を一人でも二人でも増加させるために、大学の実力・教育力の向上を目指した特色ある大学づくりに取り組みも必要に迫られています。これからは、同窓会や同窓生が果たす役割も重要となってきましたし、また積極的に物言いう卒業生であってほしいと考えていますので、今後とも会員の皆様の倍のご協力を切にお願い申し上げます。

ご挨拶



南九州大学同窓会会長 加藤 研悟

ご挨拶



南九州大学長 長谷川 二郎

今年も猛暑の夏が過ぎ、朝夕の心地よい風に秋の気配を感じる季節になりましたが、同窓生の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。本日は、今、キャンパスの移転や学部学科の新設・改組などにより大きく変わるうとしておりますが、その間、本学の将来に向かって新しい取り組みをご理解くださり、様々な形でご支援・ご協力をいただきましたことへ感謝申し上げます。さて、本学は昭和42年に宮崎県で最初の四年制の私立大学として高鍋キャンパスにおいてスタートしましたが、その後、着実に発展を遂げ、現在は宮崎キャンパスと都城キャンパスへと成長することができました。

現在、都城キャンパスには環境園芸学部と昨年開設した人間発達学部がありますが、環境園芸学部は日本だけでなく世界的にも重大な課題となっている、安全で生活質な食料を安定的に供給すること、快適で文化的な生活空間を創出すること、豊かな自然に恵まれた環境を保全すること、これらの課題に取り組んでいくことによって社会の要請に応えることのできる学部を目指しております。また、人間発達学部子ども教育学科は、小学校・幼稚園の教員や保育士の養成を主目的にした学科ですが、本学が40数年にわたって蓄積してきた教育研究の経験と実績を活かし、他の教育系の大学にはない特色ある教育によって、地域の人材を養成し、ひいては日本の教育を改善していくことを目指しております。

宮崎キャンパスの健康栄養学部には管理栄養学科と食品健康科学がありますが、管理栄養学科は毎年、管理栄養士の国家試験で高い合格率を示し注目されてきましたが、本年度は九州の大学の中で一番目に高い合格率を記録し、来年度は一番になことを目指して頑張っております。また、食品健康科学は来年度から学科名を食品開発科学科に変更しますが、その学科名に示されるように、これまで以上に地域の食品業界との連携を深め、地域の食品産業の発展に貢献することを目指して頑張っております。

今年は、東日本大震災という想像を絶する大災害に見まわれ、その被害の甚大さに心を痛め、それからの復興に心を悩ませておりますが、そのような社会情勢の中で、本学をこれまで以上に社会の発展に貢献する大学として評価される存在にしていきたいために努力していきたいと導っております。今後とも皆様のご理解とご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

都城キャンパスから見た
2月1日の新燃岳の噴火直後の写真。
今年3回目の噴火。



URL／http://hibari.nankyudai.ac.jp/dosokai/ e-mail／dosokai@nankyudai.ac.jp TEL・FAX／0986-46-1087

2011 夏のオープンキャンパス大盛況

今回のオープンキャンパスは、台風接近による天候不良にも係わらず、昨年を上回る参加者で賑わいました。特に環境園芸学科では、趣向を変えて、各研究室を徹底紹介すべく、ブース形式で展示・説明・実験等をしていただきました。どの研究室も長年の研究成果を結集した、すばらしい展示をしていただき、高校生も熱心に説明に聴き入っていました。また、実験をした研究室のブースでは、人だかりができておりました。アンケートの結果でも、「各研究室の詳細が分かって良かった」と全員が満足しておりました。



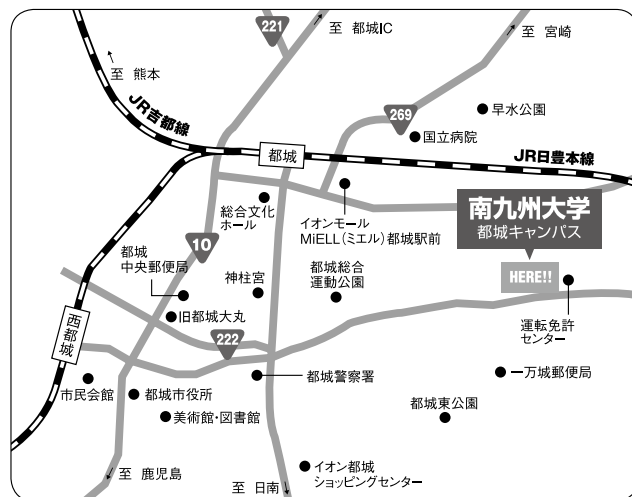
なお、オープンキャンパスに参加できなかった方は、随時、見学を受け付けております。

下記、フリーダイヤルより、お申し込みください。

都城キャンパス

環境園芸学部 環境園芸学科
人間発達学部 子ども教育学科

〒885-0035 宮崎県都城市立野町376 4-1



宮崎キャンパス

健康栄養学部 管理栄養学科／食品健康学科

〒880-0032 宮崎県宮崎市霧島5丁目1-2



平成 24 年度（2012 年度）南九州大学入試一覧

入試区分	出願期間（必着）	試験日	合格発表日	試験場
特待生推薦入試	10/ 3(月)～10/18(火)	10/23(日)	10/31(月)	本学・那覇市・福岡・広島（特待生推薦のみ）
推薦入試	I 期	11/ 1(火)～11/ 9(水)	11/13(日)	大阪・名古屋・東京（管理栄養学科は本学のみ）
	II 期	12/12(月)～12/26(月)	1/ 8(日)	本学・福岡・大阪・東京 ※管理は本学のみ
一般入試	I 期	1/17(火)～2/ 1(水)	2/ 5(日)	本学・福岡・大阪・東京
	II 期	3/ 1(水)～3/14(水)	3/18(日)	本学
	III 期	3/19(月)～3/26(月)	3/28(水)	本学
センター試験入試	I 期	1/17(火)～2/ 3(金)	—	個別学力検査は行いません
	II 期	3/ 1(水)～3/16(金)	—	
	III 期	3/19(月)～3/26(月)	—	
A O 入試	8/ 1～2/29 まで随時			別 途 案 内
A O 入試（管理栄養学科）	10/ 3(月)～10/18(火)	10/23(日)	10/31(月)	本学（宮崎キャンパス）
社会人入試・帰国子女入試	11/21(月)～11/30(水)	12/ 4(日)	12/ 9(金)	本学（宮崎キャンパス）

※詳細は、入試要項でご確認ください。

見学お申し込み・お問い合わせは、フリーダイヤル

0120-3739-20（企画広報課）まで。

〒885-0035 宮崎県都城市立野町376 4-1
TEL 0986-21-2111 (代)

原稿募集中

10 名以上参加のある OB の集り写真等お送り下さい。

次回の新聞に載せたいと思います。

同窓会事務局

URL／http://hibari.nankyudai.ac.jp/dosokai/ e-mail／dosokai@nankyudai.ac.jp TEL・FAX／0986-46-1087

第28回全国都市緑化かごしまフェア
花かごしま2011

鹿児島県支部ひばり会が出展

平成 23 年 3 月 18 日から 5 月 22 日まで開催された第 28 回全国都市緑化かごしまフェアに、鹿児島県支部（支部長・総括中野博氏）の卒業生である園芸関係者 16 名が協力し庭園（南国の庭）を出展しました。庭園のコンセプトは「南国らしい光あふれる風景と色とりどりの花のある景の 2 つの連動した庭の景の創造」とし以下の目的及び空間構成により作庭されています。



完成パース



◆出展目的

- ・南九州大学の情報発信
- ・南九州大学 OB の地域社会への貢献
- ・南九州大学 OB ひばり会の結束
- ・南九州大学 OB ひばり会と卒業生への認識強化
- ・鹿児島県で開催されるフラワーフェスタは現世代では最後と思われるため、今まで活動してきた造園、園芸の技術を集約させる。
- ・庭園展示設営のため、卒業生の多様な職種ネットワークの強化を図り、今後の活動に役立てる。
- ・多くの参加者による庭園展示の運営設営を行う。
- ・南九州大学 OB 会本部との協力体制、連携の強化を図る。

◆空間構成

- ・南九州大学のロゴマークをデザインに取り入れる。
- ・南九州大学の 3 つの拠点をイメージさせる（高鍋・宮崎・都城）
- ・南国らしいヤシ類と草花を中心とした風景とする。
- ・来園者が積極的に庭園内に入れるようにする。
- ・庭園内の園路・広場は、鹿児島の特徴を表現するためシラスを活用し暮らしを提案する。
- ・鹿児島の特徴をより表現するため、桜島の溶岩を活用し地域の特徴をだす。
- ・庭園展示ゾーンのランドマークとなるようにのぼりを設置し、5 月の頃には、鯉のぼりをあげる。
- ・来園者の休憩の場を設ける。（テーブルベンチ・ベンチ）

【開園後のコメント】

今回の展示庭園出展に伴い、南九州大学からの施工時視察や提言、開園後も数回の研究室単位での視察が行われ、OB 会と現役学生との交流がなされた。

最後に今回の展示庭園は金賞を受賞できプロジェクト参加者一同、何らかの結果が残せ、南九州大学鹿児島 OB 会（ひばり会）として全国都市緑化かごしまフェア（花かごしま 2011）の参加ができ、社会的貢献や多くの OB や大学との交流ができました。

施工中に多くの OB 会の方々の差し入れ等や資材等や樹木貸出協力に対し深く感謝申し上げます。

なお、出展に当っては同窓会より 10 万円、大学より 20 万円の支援金が贈られています。

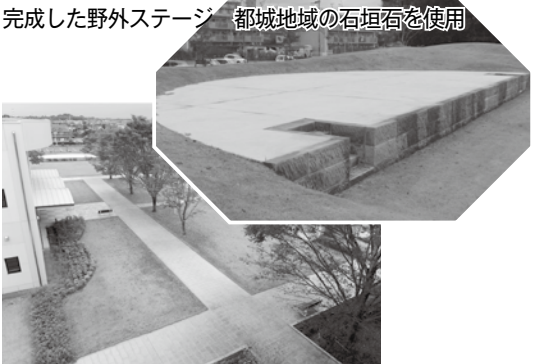
URL／http://hibari.nankyudai.ac.jp/dosokai/ e-mail／dosokai@nankyudai.ac.jp TEL・FAX／0986-46-1087



都城地区懇親会

東海ブロック

今年度の東海ブロック同窓会は昨年同様、名古屋市栄にあるアパホテル名古屋錦にて18名の参加者により行ないました。牧東海ブロック長の挨拶で始まり、見並同窓会副会長による同窓会の近況報告を聞き、2時間の懇親時間はあつという間に過ぎてしまいました。若い同窓生の参加者も年々少しずつ増えてきました。まだ参加されていない同窓生の方も同期の友人や先輩、後輩に声を掛け合是非同窓会へ参加して頂きたいと思います。



整備が済んだ2・3号館の中庭

都城地区同窓会開催

6月4日(土)中心部のメインホテルにて都城周辺3市町の同窓会が初めて開催されました。大学より金丸事務部長を迎えOB10名、加藤会長他事務局OB大学関係5名、合計16名の参加がありました。大学が都城に移ったことにより、地元のOBの協力が不可欠です。都城支部発足に向けて準備会を立ち上げました。参加者一覧：吉原(43L)、前田(45H)、福元(49L)、中畑(57H)、野崎(57H)、中村(61F)、松田(03F)、谷口(04O)、倉盛(1103)、池ノ上(2105)、加藤(46L)、徳原(42L)、川信(45H)、平岡(56L)、原田(事務局)



東海ブロック懇親会

都城キャンパスに野外ステージなど完成会

都城キャンパスの外構整備工事が一段落しました。昨年度は、本館南側に幅20mのおしゃれな看板の設置やキャンパス北側部分の園路整備などが行われました。中でも目を引くのが野外ステージです。1号館北口から軸線上の先にあります。これは、大学祭でイベントができるステージが欲しいという学生からの要望を受けて設置したもので、ステージ上は直径16mの半円状の平場になっています。正面には、都城市内の民家等でよく目にする切石を用いて3段の石垣が築かれています。エコの観点からと都城市との絆を深めたいとの意図から、都城市内で実際に使用されていた石垣石の再利用を試みましたが、新品の石より高くつき、仕上がりも良くないとのことと、泣く泣くあきらめました。しかし、真新しい石ながら、都城キャンパスが徐々に地域に根ざしていつているのと同様に、既に苔やさびが見られはじめ周囲の風景に馴染み始めています。

東北大震災

東北ブロック長 大木 一郎(48) 四十六年、車で移動中突然大きな揺れが襲った。あまりの激しさと余震が続く最中この地震は尋常ではないと思った。仙台港から津波の第一波が押し寄せてきた。慌てて車の窓から脱出し、居合わせた人達と協力して駐車場の屋根に上がった。さらに流されて来た車を足掛かりに二階建てのアパートに逃れ一晩を過ごした。その後数日メーメル先で火災を起こした仙台港の石油コンビナートの真つ赤な炎が見えた。火の勢いは強く爆発もなんども続きこの場所では危ないと思った。翌朝捜索に難断所まで運んでもらった。夕方なんとか自力で自宅まで帰る事が出来た。幸い家族は無事だったが、家の方は瓦が崩れ、外壁にはひびが入り室内はメチャメチャで入らな一週間後、やっと携帯電話が繋がった。同窓会の皆さまで助けた。電話や支援物資も送って頂き、南九大の絆を感じた。七月の総会になんとか出席する事が出来た。先生や先輩方にお会いし、沢山の励ましをいただいた。又宮崎の空気にふれ元氣をもらった。復興には、まだまだ時間がかかるとは思うが、東の北の底力」を見せろ張り出す。

東北大震災

東北大震災のお見舞金について 東北大震災から半年になろうとしていますが、余震は未だ収まる気配もなく、東京電力の福島第一原子力発電所の事故も予断を許さぬ状況が続いています。三月十一日午後の大震災と津波がテレビで実況中継される中、余りに凄まじい状況に、南九大OBや学生・保護者の方々は、家族や地域、岩手県、宮城県・福島県・青森県の八戸市周辺に限って、同窓会事務局から電話による確認作業を行いました。連絡不能が大半でした。次に見並副会長が中心となって、インターネットによる確認作業を行いました。市役所・役場は不明者の問い合わせに対しては関係者以外に答えないという事で行き詰まりました。最後の手段として、直接OBに往復ハガキを出し、安否や被害状況の問い合わせを行いました。今のところ、OB自身が「さうした」という連絡や報告は入っておりません。しかし、太平洋沿岸に住んでいるOBは、大なり小なり被害をうけていました。家族を亡くしたOB、家が全半壊したOB、自家用の建設機械が全て流失したOBの確認がとれました。今回死に一生を得た東北支部長の大木一郎さんの大変な働きに対して、感謝申し上げたいと思います。この大震災で被害を受けた人々への同窓会からの義援金については、日本赤十字等への一般的な義援金ではなく、被災者が最大の被害を受けたOBの方へ直接お見舞金を渡す事が最善の方法ではないかと考えました。この事を役員会で提案し、総会では東北大震災に限って特例として同窓会からお見舞金を出すのと、四名のOBの方へ総額七十万円、被災者一人当たり二十万、三十万、四十万、五十万と分けた。同窓会会費を完納している者に限る。以上を報告してしま

す。同窓会事務局から連絡が来たら是非とも同窓会事務局へご連絡をお願いします。

(表) 東北大震災被害状況 2011.8 現在

入学年度	学籍番号	氏名	被害状況
1986	61L08	岡田 雅樹	アパート損害の為実家へ
1977	52C19	小松 哲文	一部破損
1973	48L35	大木 一郎	車損失・家屋の被害
1987	62034	西内 芳徳	埼玉へ避難?
1976	51G21	田代 宏忠	自営用パワーショベル、大型ダンプ損失
2003	111303039	鈴木 俊志	住宅一部破損 風評被害
1980	55A08	遠藤 正	住宅全壊、親戚宅へ避難
2004	111304057	新沼 大	津波によりアパート・車損失・母、祖父母が犠牲
2001	112201033	鈴木 泰純	津波により住宅1階の被害
1970	45L40	坂田 厚	屋根瓦、壁に少々の破損

会計報告

平成 22 年度収支決算報告書

収入の部	予算額	決算額	差異	摘要
1. 会費収入	4,400,000	3,100,000	△ 1,300,000	
正会員	100,000	40,000	△ 60,000	
準会員	300,000	60,000	△ 240,000	
新入生※ (H22・23)	4,000,000	3,000,000	△ 1,000,000	
2. 広告代・寄付	100,000	0	△ 100,000	
3. 事業収入	6,000	8,000	2,000	
名簿販売	6,000	8,000	2,000	
4. 雑収入	1,500	462	△ 1,038	
預金利子	1,500	462	△ 1,038	
返金	0	0	0	
5. 基金	0	0	0	
合 計	4,507,500	3,108,462	△ 1,399,038	
前年度繰越金	1,452,431	1,452,431	0	
総 計	5,959,931	4,560,893	△ 1,399,038	

※ (新入生のH22は平成22年4月以降、H23は平成23年3月までに入金されたものを計上)

支出の部

科 目	予算額	決算額	差異	摘 要
1. 管理費	2,650,000	1,478,659	△ 1,171,341	
印刷費	500,000	169,980	△ 330,020	同窓会通信
人件費	600,000	462,625	△ 137,375	事務局・アルバイト
会議費	200,000	76,237	△ 123,763	会議時お茶・昼食代
交際費	50,000	65,150	15,150	生花代(入学式・卒業式)
需用費	1,300,000	704,667	△ 595,333	
旅費交通費	500,000	411,000	△ 89,000	役員交通費
備品費	100,000	13,200	△ 86,800	ファックス
消耗品費	50,000	33,493	△ 16,507	事務用品等
通信費	600,000	227,034	△ 372,966	通話料、郵便代
慶弔費	30,000	0	△ 30,000	
手数料	20,000	19,940	△ 60	送金手数料
2. 事業費	400,000	305,590	△ 94,410	
卒業記念品	250,000	205,590	△ 44,410	印刷記念品ポルペン190個
大学祭支援金	150,000	100,000	△ 50,000	5万円×2
3. ブロック補助金	700,000	240,000	△ 460,000	鹿児島10万・東海14万
4. 寄贈費	700,000	100,000	△ 600,000	口蹄疫
5. 基金	500,000	0	△ 500,000	
6. 返金	0	0	0	
7. 予備費	1,009,931	0	△ 1,009,931	
合 計	5,959,931	2,124,249	△ 3,835,682	

4,560,893 - 2,124,249 = 2,436,644 (次期繰越金)

現預金内訳

	内 訳	金 額	備 考
郵便局	会費振込残高	2,349,920	
普通預金	都城一万城郵便局	901	
普通預金	宮崎銀行	12,138	
現 金		73,685	
合 計		2,436,644	

基金

	平成 21 年度残高	平成 22 年度残高	差 異
高鍋信用金庫	4,509,801		- 4,509,801
高鍋郵便局	5,514,201		- 5,514,201
都城一万城郵便局		8,524,298	8,524,298
宮崎銀行		1,500,000	1,500,000
合 計	10,024,002	10,024,298	296

※事務局の移動により途中解約した為、金利が少なくなっています。

きりしま祭のご案内

場所：宮崎キャンパス
日時：11月26日(土)、27日(日)
実行委員長：末吉 功児
(学祭室：0985-61-1255)

今年のきりしま祭は毎年人気の企画から今回初の芸人ライブなどのイベントを準備して、皆様のお越しをお待ちしております(∧∧)/



平成 23 年度収支予算計画書

収入の部	予算額	前年度決算額	差異	摘要
1. 会費収入	4,400,000	3,100,000	1,300,000	
正会員	100,000	40,000	60,000	
準会員	300,000	60,000	240,000	
新入生 (H23・24)	4,000,000	3,000,000	1,000,000	
2. 広告代・寄付	100,000	0	100,000	
3. 事業収入	10,000	8,000	2,000	
名簿販売	10,000	8,000	2,000	
4. 雑収入	500	462	38	
預金利子	500	462	38	定期預金は含まず
返金	0	0	0	
5. 基金	0	0	0	
合 計	4,510,500	3,108,462	1,402,038	
前年度繰越金	2,436,644	1,452,431	984,213	
総 計	6,947,144	4,560,893	2,386,251	

支出の部

科 目	予 算 額	前年度決算額	差異	摘 要
1. 管理費	2,650,000	1,478,659	1,171,341	
印刷費	500,000	169,980	330,020	
人件費	600,000	462,625	137,375	
会議費	200,000	76,237	123,763	
交際費	50,000	65,150	△ 15,150	
需用費	1,300,000	704,667	595,333	
旅費交通費	500,000	411,000	89,000	
備品費	100,000	13,200	86,800	
消耗品費	50,000	33,493	16,507	
通信費	600,000	227,034	372,966	
慶弔費	30,000	0	30,000	
手数料	20,000	19,940	60	
2. 事業費	350,000	305,590	44,410	
卒業記念品	250,000	205,590	44,410	
大学祭支援金	100,000	100,000	0	2キャンパス×5万円
3. ブロック補助金	700,000	240,000	460,000	★
4. 寄贈費	200,000	100,000	100,000	
5. 基金	1,000,000	0	1,000,000	
6. 返金	0	0	0	
7. 予備費	2,047,144	0	2,047,144	
合 計	6,947,144	2,124,249	4,822,895	

ひばり祭のご案内

場所：都城キャンパス
日時：12月3日(土)、4日(日)
実行委員長：佐々木 大樹
(090-9034-1918)

都城に来てから二回目のひばり祭となります。未熟なところも多々ありますが、高鍋からの南九魂を根付かせていきたいと思ひますので、是非来てみてください!!



昨年のひばり祭、きりしま祭

平成 23 年度同窓会総会報告

7月9日(土)15:30より南九州大学宮崎キャンパス会議室に於いて役員16名、代議員13名の出席で平成23年度総会が開催されました。議長を加藤会長に選任し議案に則り議事進行され、最初に22年度事業報告、同決算報告、監査報告がなされ承認されました。続いて23年度事業計画、予算計画が承認されました。次に東北大震災の見舞金について協議し会費完納と甚大な被害を受けた条件で、加藤会長が他の団体の見舞金を参考に4名の被災者と見舞金の提示があり承認されました。次に中野鹿兒島支部長より緑化フェア出展の報告があり、盛会裡に総会が終了致しました。



1・2・3期生同期会開催される

7月9日(土)宮崎市観光ホテルにて1・2・3期生を開んだ同窓会懇親会が開催されました。総会後の懇親会でもあり、長谷川学長他学園大学関係者10名、短大同窓会2名、旧教員3名、同窓会役員16名、代議員12名、1・2・3期生16名、他1名、事務局1名の合計61名の参加者でした。今回1期生、2期生、3期生の還暦祝いの同期会が同時開催され、大盛会で終了しました。学長の挨拶の中でOBが心配している高鍋キャンパス跡地利用は本年度中にまとめるという話があったことを報告いたします。今回、東北大震災後で自粛の声もありましたが、宮崎も一昨年より鳥インフルエンザ・口蹄疫・新燃岳の噴火でとても疲弊しており、宮崎を元気に!日本を元気に!のスローガンで実施される事となりました。



3つのキャンパス視察報告

翌日10日(日)に参加者21名により宮崎・高鍋・都城の3つのキャンパスの視察を行いました。大学創立時に在職されていた岡本先生・小西先生夫妻(奥さんは元事務員の児玉さん)も参加されました。視察は宮崎観光ホテルをAM9:00に出発して宮崎キャンパスに約30分立ち寄り、高鍋キャンパスに向かいました。車中では懐かしい景色に昔話が尽きず、特に40年ぶりという卒業生は感慨深いようでした。途中高鍋町内で昼食をとり、高速道路にて都城キャンパスに向かい、新しいフィールドセンター(農場)や研究棟に複雑な思いをした卒業生もいました。PM6:00よりホテルプラザにて1~3期生15名の集いを開催し、昨日話せなかった同窓生と宮崎の夜を堪能しました。



高鍋キャンパス管理棟前にて

4期生還暦同期会のご案内
卒業30周年、20周年、10周年の
同期会のご案内

日 時：平成24年6月16日(土)18:00~20:00 場所：宮崎観光ホテル
会 費：5,000円程度で検討中
参加者：(1) 学園・大学教職員、旧教職員、
(2) 同窓会役員、代議員
(3) 還暦・4期生：①45 H 43名、②45 L 87名、対象者130名
(4) 卒業30周年：昭和57年卒
③53 H 103名、④53 L 85名、53 G 30名、⑤53 A 76名、対象者294名
(5) 卒業20周年：平成4年卒
⑥53 H 86名、63 O 25名、⑥63 L 37名、63 G 39名、⑦63 A 44名、63 I 28名、⑧63 F 87名、対象者346名
(6) 卒業10周年：平成14年卒
⑨10 H 53名、10 O 22名、⑩10 L 41名、10 G 54名、⑪10 A 36名、10 I 10名、対象者216名
総対象者986名
(7) 一般OB参加者：上記以外の卒業生の皆様には案内は出しませんが、希望者は参加可能です。

当日参加名簿を作成しますので、事務局まで早めに申込下さい。本案内は同窓会ホームページにも載せる予定です。又、本年度参加出来なかった1・2・3期のOBは是非ご参加下さい。※対象者には2カ月前に返信はがき入りのご案内をいたします。旧教職員の先生方で特に招待希望先生のリクエスト募集。翌日、3つのキャンパス巡りツアー等も企画予定しています。※案内文に載せる上記11クラスの幹事(声かけ人100人クラスで10人)募集。事務局まで御連絡下さい。

【総会のご案内】
平成24年度の総会を下記のとおり開催を予定しております。
日時：平成24年6月16日(土)
PM 3:30より
場所：南九州大学宮崎キャンパス2F
会議室
※総会は役員・代議員で行なわれていま
す。役員・代議員名簿は同窓会ホーム
ページを御参照下さい。